

久山年神社報 たよしの杜

第七号



宮司 本田孝裕

『神社の役割②』 『神社は重要な避難施設』

昨年発行した第四号で「神社は地域のコミュニティの場所、神社の元気は町の元気」というご説明致しました。今回は神社のもう一つの役割についてご説明します。それはかつて神社が、災害があつた時の「重要な避難施設」になつていったという事です。

一般的に神社は長い階段が続く高い場所や、山の上にあります。そして全国の多くの神社が何百年も昔に建てられた建物ばかりです。

今のように重機や便利な道具があつた時代ではありません。資材を運ぶだけでも大変だったはずで、神様を祀るだけなら、もっと低い土地を選んで建物を高くするだけの方が、はるかに楽だったと思います。なのに何故わざわざ高い場所を選んで、しかも材料を運んでまで神社を建てたのでしょうか？ その理由が顕著に表れたのが「東日本大震災」です。

あの震災では、想定外の大津波でたくさんの方が犠牲になってしまいました。助かった人々は高台へ逃げて難を逃れましたが、津波が止まった場所を線引きしていくと、その境目の高台には神社が点在していたのです。

『神様が守ってくれた』という一言で片づける事もできますが、そこに神社が存在しているのは偶然ではありません。何百年も前に同じような大津波を経験したからこそ、そこまでは津波が来ない事を昔の人たちが知つていて、そこに神社を建てていた訳です。



久山年神社の階段

東日本大震災に限らず何百年も昔の先人たちが

は、長い歴史の中で色々な災害を経験し『この場所なら何が起ころうとも安全だから、ここに神社を建てるように。そして万が一の時には神社へ避難するようにしなさい』という事を後世に伝えてくれたおかげで、高い所に神社が残っているのです。

さらに言えば昔から神社仏閣といえば、建築技術の粋を集めて作られた建物ばかりで、地震などの揺れにも強い建築方法で建てられています。また社殿の周りには様々な樹木が植えられ、いわゆる「鎮守の杜」を形成することで、防風林の役割を果たしています。あらゆる災害を想定した結果、現在のような環境に至っている訳です。

当社も山に囲まれた長い階段の上に社殿があります。『もつと平らな場所があれば楽なのに』と思いつながら毎日息を切らして登る階段ですが、前記のような理由を考えると腑に落ちます。

今年も三月十一日を迎えました。あの時に多くの人が逃げたかった神社の高台から町を眺めながら「奉仕する毎日」です。

今年の初詣は過去最多の方にお越し頂きました



神職になりたての二十年ほど前には、まばらだった初詣の参拝者は、年々少しずつ増加していき、今年は過去最多の方にお越し頂きました。ありがとうございます。

祝



創成館高等学校
硬式野球部
センバツ出場！

毎年お正月明けに当社へ「必勝祈願」に来られる創成館高等学校硬式野球部が、令和二年三月十九日(木)から開催される第九十二回選抜高等学校野球大会へ九州代表として出場します。部員全員に久山年神社の「勝守」をお渡ししております。甲子園でのご活躍を期待します。皆様もどうぞ応援してあげて下さい。



令和最初の初午祭を齋行

二月九日(日) 令和になって最初の初午祭(はつうまさい)を齋行いたしました。

今年の初午祭も企業の代表者などをお招きすることとは叶わず、例年とおりの初午祭になってしまいました。来年はご招待できるように準備を進めたいと思います。

初午祭限定御朱印を二週間限定で頒布致しました。



古神札・古神符 焼納祭

二月三日(節分)の午前十時より「古神札・古神符焼納祭」を執り行いました。

宮司が祝詞を奏上後、役員が玉串を捧げました。終了後、お祓いをした忌火(いみび)を用いて古い御神札や御守、破魔矢などの縁起物をお焚き上げ致しました。

今年も天気にも恵まれ、無事に終了致しました。



お伊勢さま・氏神さまのお神札をお祀りしましょう

お伊勢様と氏神さまのお神札は家族の幸せを願うお神札です。朝には一日の無事を願い、夕にはそれに感謝します。ご家族全員で手を合わせることは家族の絆を強めることにもなります。ご家族そろって幸せをお祈りしましょう。

新たにお神札を受けて頂いた方へ特製の神棚をプレゼント中です。詳しくは神社へお問い合わせください。



特製神棚
プレゼント

(数に限りがあります)



【新型コロナウイルス対策実施中です】

世界的に新型コロナウイルスの感染が拡大中です。当社においても参拝者の健康に配慮して、現在「新型コロナウイルス対策実施中」です。

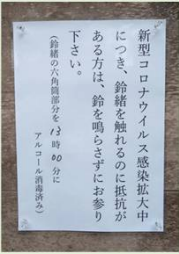
具体的には間接的に接触する「手水舎の柄杓を二〜三時間おきにアルコール消毒」しており、それでも柄杓に触れる事に抵抗がある人のために、手水舎の横の水道を少量ずつ流して「柄杓にふれなくても手を清めることができる」ようにしております。

手水舎の手拭き用タオルは「午前と午後に一度ずつ交換」も併せて行なっています。

また「鈴緒の六角筒部分を二〜三時間おきにアルコール消毒」を実施、鈴緒に触れる事に抵抗がある人は「鈴を鳴らさずにお参りください」との注意書きを社殿の前に掲示しております。

神職は宮司一人のみです。来訪者とお話するのも仕事の一部のため、失礼に当たると考えてマスクは着用しておりませんが、通常は社務所に常駐し手洗い・うがいを数時間ごとに行なっております。

この対策は沈静化するまで当面の間、続けてまいります。



御朱印帳の取り扱い

始めました

おかげ様で御朱印をお受けに来社される方が増えてきました。それに伴いまして「御朱印帳はありますか？」との問合せも増えてきました。

そこでこの度、御朱印帳の取り扱いを始めました。

ほとんどの御朱印帳が一種一冊ずつなので、早い者勝ちです。



(小) 1500円
(大) 1800円
(見開き用) 3600円

今回の**編集後記**は、紙面の都合上お休みさせて頂きます。

